

藤田 利治 データ科学研究系 教授

【背景と目的】

- 自殺死亡者数は平成9年まで2万5千人前後で推移していたが、平成10年に3万人を超え、以降もその水準で推移（図1）
- 自殺対策基本法の施行（2006年10月）：自殺対策の総合的な推進は国家的課題。自殺予防総合対策センターを設置

地域における自殺予防対策の企画・立案を促進するため、地域ごとの自殺死亡の実態についての統計を作成し、自殺予防対策への活用をはかる

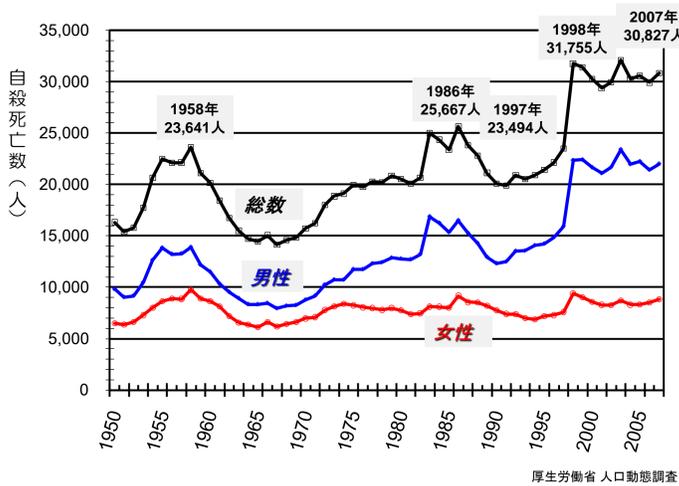


図1 自殺死亡の年次推移

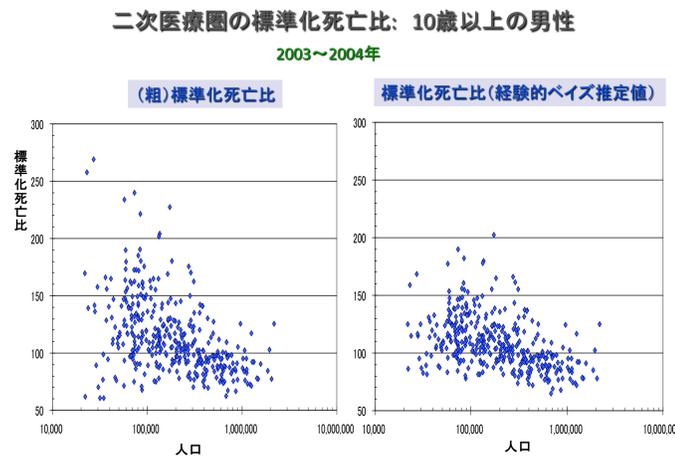


図2 経験的ベイズ推定による偶然変動の抑制

【方法】

- ◆ 指定統計の目的外使用の承認を得て、人口動態調査死亡票を使用。1973年から2007年までの自殺死亡の83万件超のデータ
- ◆ 集計する地域の最小単位を2005年3月末時点での市区町村とし、1973年まで遡って各地域での自殺死亡の状況を整理
- ◆ 市区町村別などの小地域での自殺といった稀な事象に関する統計指標は、そのままでは偶然変動の影響を受け、不安定な動き。各指標について経験的ベイズ推定値を算出し、事象数の少なさに起因する偶然性の影響を抑制（図2）

【統計資料の作成と公表】

- ◆ 自殺予防総合対策センターのWebサイトに掲載、及び印刷
 - 自殺対策のための自殺死亡の地域統計（2009年4月）：全体で495ページ
<http://www.ncnp-k.go.jp/ikiru-hp/toukei/index.html>
 - 自殺対策のための自殺死亡の地域統計（2）：自殺の手段、配偶関係、職業（2010年2月）：全体で455ページ
<http://ikiru.ncnp.go.jp/ikiru-hp/genjo/toukei/index2.html>
- ◆ 平成21年度版 自殺対策白書（内閣府）で紹介（p47-55）

第7表 市区町村・性別の自殺の推移：自殺死亡数、死亡率、年齢調整死亡率、標準化死亡比									
(2008年3月31日現在の市区町村；10歳以上)									
		男				女			
		自殺死亡数	死亡率 [#]	年齢調整死亡率 [#]	標準化死亡比 [#]	自殺死亡数	死亡率 [#]	年齢調整死亡率 [#]	標準化死亡比 [#]
		1年当り	10万対	10万対	×100	1年当り	10万対	10万対	×100
東京都 立川市(13202)									
	1973-1982年	13.3	23.4	25.6	95.4	6.2	11.3	13.1	76.7
	1983-1987年	20.6	32.3	34.4	108.0	10.0	15.5	16.0	107.0
	1988-1992年	15.0	22.3	23.2	95.6	6.2	9.7	10.0	75.6
	1993-1997年	18.4	25.8	25.5	101.9	6.6	9.6	9.1	82.5
	1998-2002年	22.6	31.0	30.3	82.5	13.0	17.0	14.6	118.6
	2003-2007年	28.4	36.5	34.2	94.8	10.4	13.3	12.5	95.4
東京都 国立市(13215)									
	1973-1982年	4.3	17.7	21.1	72.7	3.6	13.9	16.7	94.6
	1983-1987年	5.8	22.1	26.7	76.0	3.2	12.4	13.5	86.9
	1988-1992年	4.6	17.2	20.0	75.3	3.2	11.8	11.8	91.0
	1993-1997年	5.4	19.2	20.3	77.5	4.6	14.5	12.6	120.9
	1998-2002年	10.6	33.5	33.0	91.1	4.8	14.8	13.3	104.0
	2003-2007年	10.0	31.4	31.7	82.5	4.2	13.1	12.7	94.1

図4 市区町村別の統計表の例

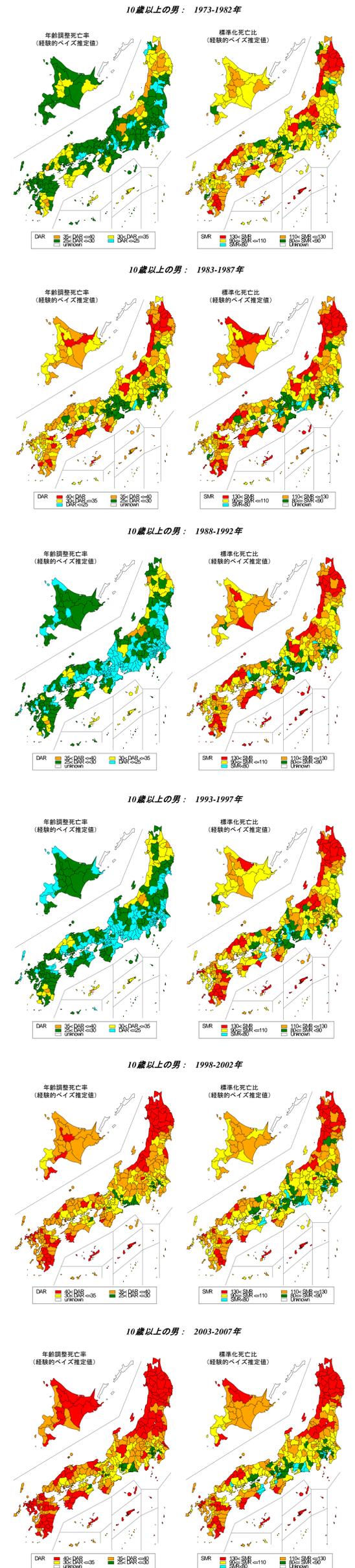


図3 自殺死亡の時空間分布